

## 踏 み 跡 < My mountains >

那須	阿武隈川白水沢左俣廻行	No.096
----	-------------	--------

昭和42年10月22日

加藤と二人、那須の裏にかなりいい沢があるらしいから、一度行ってみようということになり、あっという間に計画が立ち出かけることになった。行き先は阿武隈川の源流の白水沢。

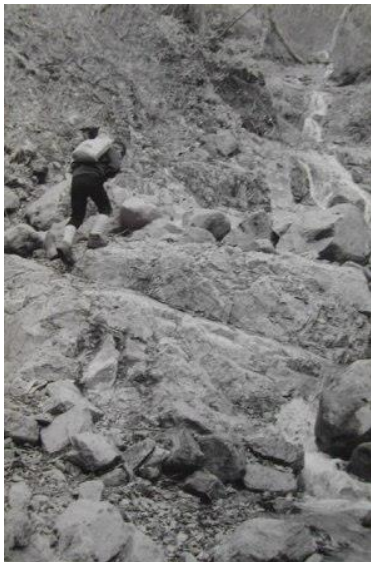
今回も東北急行バスでゆったり・・・と思ってバスセンターまで行ってみたら、団体客が入ったらしく満員。やむを得ず上野駅まで急ぎ、かろうじて23時50分発「急行しのぶ・ひばら」にありつくことができた。

予定に反して急行券200円は赤字。酒を飲んで騒いでいる奴らがうるさくてなかなか寝付けない。

昭和42年10月23日

白河着4時01分。始発のバスまで待合室でポンチョを被ってまた一眠り。6時起床、朝食を食べて6時40分のバスで新甲子温泉まで約一時間。(130円)

新甲子温泉7時30分。阿武隈川の流れに沿って紅葉のトンネルの中を甲子温泉へ。道を包むように上から赤く色づいた枝がかぶさり、道には落ちたばかりの葉が、所によって



は足の踏み場がないぐらいに。甲子温泉の野天風呂の裏から沢に入り、廻行開始。(上写真:甲子温泉旧館入口)

小さな釜や淵は落ち葉に水面が隠されていて、気をつけないと思わぬときに水に足をつまむことになる。枯葉の隙間に見える川床はきれいな岩。大きな滝は時折赤や黄色の落ち葉を巻き込み白い飛沫を上げ、まさに晩秋の渓谷美を欲しいままにしている。(左写真:上流の小さな滑滝の連続)

約二時間半で廻行を終わり、11時15分に甲子峠付近の林道に出た。会津方面の山々は低い雲の下にわずかしか見えず、寒々しい景観。北西の冷たい風が吹き、ぶるんと来るような寒さ。

那須の山は・・・赤崩山のその名のごとき山肌、三本槍の圧巻、真っ赤に染まり広々と広がる清水平。

甲子山(1549m)12時40分。紅葉を眺めていると寒さが襲いかかってくる。

12時55分に下山開始し甲子温泉に14時05分帰着。白河から東北本線で上野へ。往路で急行に乗って予算超過気味のため、帰りは15時45分発の各駅停車で黒磯・宇都宮と乗り継いで帰り、上野着は21時になった。

以上

(更新・修正:2023年11月)

